

平成22年度 『確かな学力の定着度調査』の実施結果について(その2)

1 調査の目的

(1) 学力調査により児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着度を検証するとともに、あわせて意識調査を実施し、学習に対する意識や家庭での生活習慣などと学力との相関関係を検証する。表面上の学力だけでなく、その根本にある意識面との相関関係を分析することで、児童・生徒の実態を正しく把握する。

(2) 調査結果の分析により、区全体、学校、学年、学級、個々の児童・生徒の課題を把握し、授業や指導方法の改善、児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行うための資料として活用する。

2 調査内容の構成

『確かな学力の定着度調査』は、学習内容が身に付いているかどうかを把握する「学習到達度調査」と、学習に対する意欲や態度がどのように養われているかを図る「学習意識調査」から構成され、2つの調査結果の相関関係から、児童・生徒の学習状況の全体像を把握する。

① 学習到達度調査

基礎的な学力の定着の状況を見ることができるよう構成されている。

② 学習意識調査

学習に対する意欲や取り組み状況を中心に、家庭での生活習慣などをみることができるよう構成されている。このことで、学力の背景となる児童・生徒一人一人の学習意欲を把握する。

3 実施状況

① 実施日 平成22年4月13日(火)

② 実施教科等

小学校4・5・6年 国語・算数・意識調査

中学校1年 国語・算数・意識調査

中学校2・3年 国語・数学・英語・意識調査

③ 受検者数

【小学校】

		4年	5年	6年
学習到達度調査	国語	3470人	3335人	3414人
	算数	3421人	3299人	3371人
学習意識調査		3468人	3338人	3413人

【中学校】

		1年	2年	3年
学習到達度調査	国語	2958人	2865人	2614人
	数学	2958人	2864人	2612人
	英語		2866人	2616人
学習意識調査		2959人	2868人	2615人

#### 4 学習意識調査の項目別内容（区全体）

※設問ごとに、「とても」「まあ」「あまり」「全く」「その他・無回答」の5つの回答のうち、「とても」「まあ」の肯定的な回答をした児童・生徒の人数の割合。  
網掛けは、50%に達していない箇所。

##### ■基礎体験

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした児童・生徒の人数の割合（％）					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
外遊び	友だちと外で遊ぶ。	90.9	91.3	87.8	87.0	78.5	72.1
内遊び	テレビを見たり、マンガを読んだりする。	84.9	90.5	92.2	94.8	95.0	94.0
ゲームとの接触	テレビゲームなどのゲームをする。	67.4	71.4	71.5	70.2	62.9	59.8
パソコンとの接触	パソコンやインターネットをする。	39.0	47.5	54.7	57.7	65.5	71.1
読書・新聞との接触	本や新聞を読む。	61.0	64.8	66.2	61.3	55.5	53.5
地域活動への参加	自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する。	48.4	47.3	42.7	26.4	19.1	14.4
お手伝い	家のお手伝いをする。	80.9	81.6	81.1	82.2	71.1	71.2
学校行事への参加	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加する。	47.4	47.4	47.7	59.4	56.7	49.0
携帯との接触	携帯電話を使って電話をしたり、メールをしたりする。	20.3	25.9	33.0	48.7	60.6	67.9
大人への信頼	家族や学校の先生以外に、悩み事などを相談できる大人がいる。	53.4	51.2	55.2	56.3	54.8	49.9
友だちとの支え合い	自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。	82.7	85.4	85.6	88.2	87.4	86.9
家族への信頼	家族は自分のことを気にかけてくれていると思う。	82.1	86.4	85.8	89.8	84.1	84.9
教師への信頼	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う。	76.9	76.8	73.8	78.9	68.1	63.9

- ・「友だちと外で遊ぶ」の項目と「テレビを見たり、マンガを読んだりする」の項目を比較すると、学年が上がるにつれ、外遊びよりも内遊びが多くなる傾向がある。
- ・小中学校の全学年において「自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる」「家族は自分のことを気にかけてくれていると思う」は80%を超えており、概ね良好な結果となっている。一方、「自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する」の項目では、全学年で50%未満の結果であり、「放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば参加する」の項目においても、中1中2を除く学年で50%未満の結果となっている。
- ・「今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う」については、概ね学年が上がるにつれ、ポイントが低下している。

## ■学びに向かう力

### ◆感じ取る力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
知的好奇心	ふだんから「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	72.5	75.1	79.9	77.9	74.2	76.0
感性の豊かさ	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	61.2	62.0	66.1	68.3	70.0	73.5
学ぶ楽しさ	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	82.9	81.5	79.0	83.9	68.5	69.5

- ・「本やドラマを見て、人の生き方に感動することがある」については、学年が上がるごとにポイントが上昇する傾向がある。
- ・「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」については、小学校において学年が上がるごとにポイントが減少する。しかし、中学校へ入学したばかりの中1は、学習内容に新鮮さを感じていることがわかる。

### ◆学習動機

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
学習の役立ち感	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	92.6	88.0	86.9	86.9	74.7	70.2
学習の充実感	学習して、わかったりできるようになったりすることが、増えていくことはうれしい。	89.6	89.1	87.4	87.5	81.6	82.1
学力向上心	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	90.1	91.3	90.9	93.4	89.3	91.9

- ・「自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う」は、全学年で89%以上となっている。
- ・「学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う」については、学年が上がるにつれ、ポイントが減少する傾向がある。

### ◆自己効力感

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
自己肯定感	努力をすれば、自分もたいいのことはできると思う。	87.9	88.1	88.3	88.1	82.9	81.9
自己有能感	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	74.7	71.4	67.1	63.5	56.6	49.6
達成経験	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	85.9	88.7	87.8	89.4	84.9	84.9

- ・「努力すれば、自分もたいいのことはできると思う」「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」は、全学年で80%を超えており、概ね良好な結果となっている。一方、「自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある」については、やや低い結果となっており、学年が上昇するにつれ、ポイントが減少している。

◆自己責任

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
自助努力	成績が悪かったときは、自分の努力が足りなかったからだと思う。	81.7	89.6	90.0	91.7	92.9	94.5
失敗を生かす力	同じまちがいをくり返さないように気をつけている。	86.0	86.3	84.3	84.5	77.1	77.3

・概ね良好な結果を示している。特に、「成績が悪かったときは、自分の努力が足りなかったからだと思う」については、全ての学年で80%を超えている。

■自ら学ぶ力

◆学習スキル

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
ノートの取り方	黒板に書かれなくても、大事なことはノートに書きとめている。	59.7	57.3	59.1	66.3	54.9	52.1
学び方の工夫	先生や友だちから聞いた学習の方法を参考にしている。	77.9	80.1	77.1	76.6	64.7	65.6
テストへの対応	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	77.2	69.4	62.9	57.5	40.8	36.5

・全般に、中学校2・3年でポイントが低下している。

◆学習定着のための方略

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
反復方略	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	60.1	51.0	50.1	45.9	33.4	32.0
精緻化方略	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	59.4	59.2	60.2	62.8	50.7	49.1
体制化方略	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	64.8	54.1	53.9	53.4	45.7	47.0
体制化方略	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	61.6	59.0	57.0	51.4	35.1	30.1

・全般にポイントが低い。「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」は、学年が上がるにつれてポイントが減少する傾向を示している。また、「授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている」については、中学校3年の30.1%まで下がり続ける結果となっている。

### ◆学習計画力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
学習状況の評価	習った内容の中で、何がまだ理解できていないかわかっている。	64.1	75.0	77.6	79.7	76.8	76.9
学習目標の認識	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	58.4	48.3	46.4	43.0	30.7	31.5
学習計画の立案	自分で学習の計画を立てている。	54.9	50.3	51.9	46.3	36.5	35.7

・全般に低めのポイントとなっている。特に「その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる」「自分で学習の計画を立てている」については、中学校の全ての学年において、50%を割っている。

### ◆自宅学習習慣

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
宿題の習慣	宿題はきちんとやっている。	90.0	91.8	89.5	91.8	78.6	78.9
復習の習慣	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	53.1	46.1	40.6	42.1	25.3	23.5
自主的な学習	興味を持ったことを、自分から進んで学習している。	76.2	71.9	68.5	67.8	53.7	53.6

・項目により傾向が分かれる結果になっている。「宿題はきちんとやっている」については、中学校2・3年で下がるものの概ね良好な結果となっている。「授業で習ったことは、その日のうちに復習している」は4年生以外は50%を割っており、中学校3年では23.5%となっている。「興味を持ったことを、自分から進んで学習している」については、70%を超える学年は小学校4、5年のみであるが、50%を割る学年はない。

### ■学びを律する力

#### ◆学習継続力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
積み上げる力	目標に向けて、ふだんからコツコツ学習している。	60.8	56.3	55.1	49.9	32.1	34.1
遂行力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	69.3	67.1	60.5	60.1	45.2	47.3

・全学年を通じ高い項目はなく、中学校のポイントが低い。「目標に向けて、ふだんからコツコツ学習している」は、中学校2年の32.1%を底に減少傾向である。同様に、「わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している」についても、中学校2年の45.2%を底に減少傾向である。

### ◆学習のけじめ

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
集中力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	79.2	57.5	53.7	54.7	40.6	42.1
注意力	勘違いや思い込みがないか、しっかり見直しをしている。	68.6	64.0	60.3	60.4	48.7	48.8

・両方の項目ともに、中学校1年までは50%以上であるが、中学校2年3年では50%を割っている。

### ◆学習環境の整備

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
学習時の姿勢	正しい姿勢で学習している。	61.4	58.5	53.8	55.9	45.6	45.3
学習への準備	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	79.6	79.2	77.3	86.6	78.8	79.0

・2つの項目でやや異なる傾向を示している。「必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている」は、中学校1年が86.6%で、その他の学年も概ね70%以上の良好な結果を示している。一方、「正しい姿勢で学習している」については、学年が上がるにつれ下がり、中学校2年3年では50%を割っている。

### ◆授業を受ける姿勢

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
聞き話す構え	人の話は最後まで、きちんと聞いている。	80.6	78.8	75.9	80.2	72.1	76.4
授業への準備	ふだんから、ちこくや忘れ物をしないようにしている。	80.4	83.5	81.8	91.8	84.4	84.5
積極的な参画	授業を集中して受けている。	81.5	81.3	76.6	86.8	74.0	77.6

・概ね良好な結果となっている。特に、「ふだんから、ちこくや忘れ物をしないようにしている」は全ての学年が80%以上で良好な傾向を示している。また、「人の話は最後まで、きちんと聞いている」や「授業を集中して聞いている」については、中学校2年で最も低いポイントとなっているものの、概ね良好な結果となっている。

■生きる力

◆問題解決力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
調査研究力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	70.8	60.9	61.3	61.4	53.9	52.6
思考力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	74.0	60.0	59.7	59.5	52.6	54.1
自己表現力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	60.9	53.5	52.6	49.4	42.9	40.8
情報活用力	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	61.0	54.1	55.2	53.6	42.4	42.2

・全般に低い結果となっている。特に、「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる」や「調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる」といった、プレゼンテーションに関わるような項目において、中学校は低い結果となっている。

◆社会的実践力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
公共性	学校のきまりや規則を守っている。	84.3	81.2	75.2	91.2	80.1	83.9
社会対応力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	61.0	61.4	65.5	64.0	61.0	61.5
共生力	お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	56.2	47.9	49.6	48.6	43.2	43.3
社会貢献	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	59.9	51.5	57.9	52.0	42.8	46.3

・傾向がやや2つに分かれている。「学校のきまりや規則を守っている」については、学年によりばらつきはあるものの、概ね良好な結果を示している。一方、「お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある」については、4年生以外の学年で50%を切る結果となっている。

◆豊かな心

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
礼儀・マナー	近所の人に会ったとき、あいさつをしている。	84.3	83.6	84.6	86.3	82.6	83.3
責任感	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	75.5	74.2	74.6	79.4	75.6	76.4
勇気・熱意	むずかしいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	71.3	68.3	64.8	64.2	56.3	54.0
創造的態度	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	69.1	65.9	62.4	60.0	51.1	48.7
バランス感覚	自分とちがう意見も尊重している。	74.1	62.7	62.1	67.2	64.3	70.6

・「近所の人に会ったとき、あいさつをしている」は全学年で80%を超えており、良好な結果となっている。また、「自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる」は全学年で70%を超えており、概ね良好な結果となっている。一方、「いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている」は学年が上がるごとに減少し、中学3年は50%を切る結果となっている。

◆自己成長力

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
自己評価力	どんな職業や進路が自分に適しているのかを知っている。	59.3	56.3	55.6	49.6	42.3	41.8
自己実現力	将来かなえてみたい夢がある。	88.0	88.7	85.5	83.5	70.7	68.0

・「どんな職業や進路が自分に適しているのかを知っている」については、全般に低く、学年が上がるにつれて減少し、中学校1年以降は50%を切る結果となっている。また、「将来かなえてみたい夢がある」についても、学年が上がるにつれてポイントが下がる傾向である。

■通学意欲

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
通学意欲	学校に行くのが楽しい。	78.4	77.4	75.9	85.6	75.4	71.4

・全ての学年において70%を上回り、概ね良好な結果となっている。



## ■基本的生活習慣

タイトル	出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
		小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
食習慣	朝食は毎日食べている。	93.7	93.8	94.0	94.0	89.0	89.5
自律的行動	朝、自分で起きることができる。	73.9	73.1	73.9	74.9	72.4	72.3
生活リズム	夜は決まった時間に寝ている。	55.9	48.4	44.2	43.7	35.6	34.5

・項目毎に結果が分かれている。「朝食は毎日食べるようにしている」については、全学年で89%を超えており、良好な結果となっている。また、「朝、自分で起きることができる」については、全学年で70%を超えており、概ね良好な結果となっている。一方、「夜は決まった時間に寝ている」については、小学校4年以外の学年で50%を切る結果となっており、学年が上がるにつれてポイントが下がる結果となっている。

## ■家庭での指導・活動

出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
新聞に書かれていることについて家族と話す。	38.2	38.1	38.6	36.6	34.1	34.9
家族から世の中のふしぎな話や感動するような話を聞く。	50.8	49.3	48.1	44.8	39.2	37.6
家族といっしょに工作や料理などをする。	68.5	65.6	62.2	52.2	41.3	35.6
朝食は家族といっしょに食べている。	69.2	67.4	63.9	61.6	50.3	46.8
夕食は家族といっしょに食べている。	86.2	84.7	82.7	84.2	78.5	75.6
家族からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	59.9	63.1	60.8	59.8	50.0	46.7
習い事やスポーツ、学習などで自分が立てた目標を達成できるように家族が応援してくれる。	78.1	75.5	74.8	76.9	71.4	70.8
学校で学習したことが社会に出た時に役に立った話を、家族から聞いたことがある。	71.8	60.7	61.4	59.9	51.1	42.3
将来の夢やこれからの進路について家族と話す。	67.3	60.6	61.3	63.1	62.7	75.2
食器の後かたづけなど、自分のことは自分でするように、言われている。	78.9	78.3	81.8	88.4	85.0	85.7
早寝早起きなど、規則正しく生活するように、言われている。	82.3	80.8	80.8	84.4	76.6	76.2
人が話しているときはしっかり聞くように、言われている。	85.7	84.9	84.9	86.2	80.4	78.5
ふだんから計画的に学習するように、言われている。	71.8	70.0	71.5	73.3	72.6	72.7
やりはじめたことは途中で投げ出さず、最後までやりとげるように、言われている。	81.9	77.7	77.2	77.2	71.2	69.8
よく確かめて、勘違いや思い込みをなくすように、言われている。	74.5	70.2	71.1	70.6	65.4	62.8
朝食は毎日食べるように言われている。	83.6	79.7	80.7	80.5	70.8	69.6

・「夕食は家族といっしょに食べている」は中学校2年3年を除く学年で80%以上のポイントとなっており、良好な結果となっている。一方、「朝食を家族といっしょに食べている」については、夕食よりも低いポイントとなっており、学年が上がるにつれて、減少している。

・「新聞に書かれていることについて家族と話す」については全学年において、「家族から世の中のふしぎな話や感動するような話を聞く」は、1年生を除く学年で50%を切る結果になっている。

・「家族からたよりにされて、何かの役割をまかされている」や「学校で学習したことが社会に出た時に役に立った話を、家族から聞いたことがある」は学年が上がるにつれ減少し、中学校3年では50%を切る結果になっている。

## ■学校での指導・活動

出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
自分のことは自分でするという習慣を身につけよう。	71.8	70.6	73.4	75.4	65.8	66.4
見直しや確かめをして、勘違いや思い込みをなくそう。	75.8	71.7	74.1	74.6	70.9	72.4
新しいことを学ぶときは、これまでに学んだことを組み合わせて考えてみよう。	64.1	58.9	62.9	64.7	54.7	54.3
授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えてみよう。	57.1	55.9	61.1	61.5	48.0	45.8
まちがえた問題や自信のない問題に、くり返し挑戦しよう。	71.9	71.7	73.0	76.5	75.9	76.9
家庭でも、毎日、時間を決めて学習したり、読書をしたりする習慣をつけよう。	61.5	60.0	65.3	67.7	68.7	70.8
掃除やボランティア活動は積極的にしよう。	46.5	42.8	49.1	49.4	50.9	48.2
おもしろい実験や楽しい教材を使って学習する。	77.2	78.2	77.7	75.4	60.3	54.0
ゲスト・ティーチャー（地域の人や学校以外の人）などから、勉強や活動についての感想やアドバイスをもらう。	45.9	42.7	47.5	54.3	44.9	41.6
友だちの悩みについて、みんなで話し合う。	55.3	47.3	43.0	44.0	27.3	20.2
友だちの良いところや友だちから学んだことを話し合う。	59.2	51.6	49.5	48.0	28.9	23.9
学習することが、ふだんの生活や自分の将来にどのように役立つかについて話し合う。	62.2	56.9	53.4	41.9	32.1	30.3
先生から、がんばっている先輩や友だちについての話を聞く。	57.6	49.5	53.8	59.0	54.3	54.5
ふりかえりテストなどで自分がわからなかったところを確認する。	68.6	72.5	70.3	68.1	56.8	54.2
学習内容が理解できなかったり、テストでまちがえたりした原因について考える。	67.1	65.5	62.9	61.7	53.0	51.4

・80%に達している学年がある項目はなく、全般に低めの結果となっている。50%を割っている学年が多い項目としては、「掃除やボランティア活動は積極的にしよう」や「ゲスト・ティーチャー（地域の人や学校以外の人）などから、勉強や活動についての感想やアドバイスをもらう」、「友だちの悩みについて、みんなで話し合う」、「友だちの良いところや友だちから学んだことを話し合う」である。

## ■部活動

出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
熱心に活動している					63.5	55.6
部活動に参加しているがあまり熱心ではない					18.2	22.4
以前は参加していたが、現在は参加していない					12.5	16.8
今までに参加したことはない					5.3	4.8

■進路意識 ※質問内容「あなたは、どの学校まで進みたいですか。」

出題内容	肯定的な回答をした 児童・生徒の人数の割合 (%)					
	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
高校まで				25.9	27.7	23.4
専門学校・各種学校まで				26.9	22.4	21.8
短期大学まで				9.0	8.3	8.7
四年制大学まで				24.2	30.5	36.7
大学院まで				10.5	8.4	7.1
その他				3.1	2.4	2.1

・短期大学を含む大学以上の進学を考えている割合は、1年生が43.7%、2年生が47.2%、3年生が52.5%となっており、学年が上がるに従ってスコアが上がる結果となっているが、進路についての意識はそれほど高いとはいえない結果となっている。

5 学習意識調査と学習到達度調査の関係 (学年別A-D層格差の上位10項目)

※A～D層とは、合計得点によって学年ごとに児童・生徒のデータを並べ、25.0%ごとに区切った層であり、上位からA層、B層、C層、D層としている。また、数値は、各層で肯定的な回答をした児童・生徒の人数の割合である。この結果によって、学力と学習意識との相関関係が分かる。

小4年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	本や新聞を読む。	61.0	77.1	65.3	55.6	45.3	31.8
2	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	61.0	73.8	63.6	58.6	47.6	26.2
3	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	70.8	80.8	75.8	69.1	56.9	23.9
4	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	69.3	78.1	73.2	69.8	55.7	22.4
5	ふだんから、ちこくや忘れ物をしないようにしている。	80.4	88.4	84.9	81.5	66.7	21.7
6	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	60.9	69.9	64.7	60.5	48.3	21.6
7	学習内容が理解できなかつたり、テストでまちがえたりした原因について考える。	67.1	75.2	69.5	68.9	54.3	20.9
8	ふだんからこつこつ勉強している。	60.8	70.5	62.2	60.3	49.7	20.8
9	授業を集中して受けている。	81.5	88.2	86.9	82.7	67.9	20.3
10	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	74.0	82.7	78.3	71.8	62.7	20.0
10	習い事やスポーツ、勉強などで自分が立てた目標を達成できるように家族が応援してくれる。	78.1	85.9	80.6	79.7	65.9	20.0

小5年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	60.9	76.6	67.2	57.8	41.6	35.0
2	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	54.1	70.2	59.3	49.8	36.7	33.5
3	ふだんからこつこつ勉強している。	56.3	72.5	61.3	50.9	39.9	32.6
4	自分とちがう意見も尊重している。	62.7	78.1	69.0	57.3	45.9	32.2
5	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	60.0	73.7	64.6	58.7	42.6	31.1
6	本や新聞を読む。	64.8	79.2	68.4	61.4	49.8	29.4
7	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	61.4	75.3	63.8	59.5	46.5	28.8
8	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	53.5	67.2	56.8	50.7	38.8	28.4
9	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	54.1	67.1	59.4	50.7	38.7	28.4
10	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	59.2	71.1	64.0	56.7	44.6	26.5

小6年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	ふだんからこつこつ勉強している。	55.1	74.5	63.2	48.1	34.5	40.0
2	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	61.3	80.1	70.3	53.7	40.8	39.3
3	自分とちがう意見も尊重している。	62.1	79.5	69.6	57.7	41.7	37.8
4	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	53.9	73.7	60.0	45.5	36.3	37.4
5	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	59.7	77.3	65.9	53.8	41.7	35.6
6	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	52.6	69.2	58.9	46.5	35.8	33.4
7	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	55.2	69.6	61.7	51.2	38.2	31.4
8	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	60.5	74.4	67.4	55.9	44.2	30.2
9	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	60.2	73.6	66.8	56.4	43.8	29.8
10	かんちがいや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	60.3	75.7	63.1	55.7	46.5	29.2

中1年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	自分とちがう意見も尊重している。	67.2	84.3	72.7	64.4	47.2	37.1
2	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	61.4	79.1	66.7	55.1	44.2	34.9
3	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	53.4	71.5	57.2	47.0	37.8	33.7
4	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	53.6	68.8	59.9	50.0	35.4	33.4
5	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	59.5	73.2	64.7	58.7	41.3	31.9
6	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	62.8	77.6	67.7	60.2	45.7	31.9
7	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	64.0	76.1	68.7	62.8	48.2	27.9
8	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	60.1	71.7	65.4	58.1	44.7	27.0
9	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	49.4	63.1	51.8	45.2	37.3	25.8
10	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	57.5	68.8	61.0	56.6	43.5	25.3

中2年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	45.7	67.9	47.2	41.6	26.1	41.8
2	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	53.9	72.8	59.9	49.7	33.4	39.4
3	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	45.2	67.0	46.7	39.2	27.7	39.3
4	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	50.7	67.9	55.0	49.9	29.8	38.1
5	宿題はきちんとやっている。	78.6	92.2	88.7	78.9	54.2	38.0
6	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	52.6	70.8	57.9	48.1	33.4	37.4
7	自分とちがう意見も尊重している。	64.3	80.4	69.5	64.0	43.1	37.3
8	ふりかえりテストなどで自分がわからなかったところを確認する。	56.8	72.3	62.5	55.2	36.9	35.4
9	学習内容が理解できなかつたり、テストでまちがえたりした原因について考える。	53.0	66.9	57.5	53.0	34.4	32.5
10	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	42.4	57.5	45.1	41.4	25.3	32.2

中3年		葛飾区	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	47.3	71.2	52.0	40.2	25.9	45.3
2	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	47.0	67.0	54.1	43.2	23.1	43.9
3	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	52.6	73.2	57.4	46.6	33.2	40.0
4	宿題はきちんとやっている。	78.9	92.9	89.4	77.5	55.3	37.6
5	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	54.1	72.2	59.4	48.9	35.7	36.5
6	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	49.1	64.9	55.2	47.2	28.8	36.1
7	自分とちがう意見も尊重している。	70.6	84.0	74.2	72.1	51.8	32.2
8	調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	42.2	58.3	46.6	37.2	26.5	31.8
9	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	36.5	52.3	40.2	30.3	23.3	29.0
10	勘違いや思い込みがないか、しっかり見直しをしている。	48.8	61.8	52.5	47.3	33.5	28.3

6 学習意識調査と学習到達度調査の関係（学年別A-D層格差）

※学年ごとにA層-D層の数値を求めると以下のとおりとなる。

■基礎体験

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
友だちと外で遊ぶ。	0.4	-6.0	-9.7	-4.7	-13.5	-22.1
テレビを見たり、マンガを読んだりする。	0.6	-2.2	-5.2	1.5	-0.4	2.3
テレビゲームなどのゲームをする。	-7.3	-6.3	-13.5	-2.4	-8.9	-5.6
パソコンやインターネットをする。	4.9	10.3	8.1	13.5	15.5	18.5
本や新聞を読む。	31.8	29.4	27.1	24.2	21.4	23.0
自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する。	6.8	12.9	7.6	2.4	3.2	-1.7
家のお手伝いをする。	5.4	2.0	0.9	2.1	1.6	4.9
放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加する。	18.9	20.4	16.8	20.1	21.6	15.8
携帯電話を使って電話をしたり、メールをしたりする。	-0.5	-1.6	3.5	-6.6	-6.9	-7.5
家族や学校の先生以外に、悩み事などを相談できる大人がいる。	0.8	0.8	-0.3	-1.0	1.9	0.8
自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。	13.3	10.9	11.8	8.4	7.9	5.1
家族は自分のことを気にかけてくれていると思う。	16.3	13.4	18.1	11.1	16.7	16.9
今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う。	15.0	19.3	24.7	18.9	25.5	22.5

・「基礎体験」では、学力との相関が高い項目と、相関が低いか、もしくは負の相関となっている項目とに分かれている。

・「本や新聞を読む」「今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う」は数値が平均で20ポイントを超えている。また、「放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加する」は平均で18.9ポイントとなっており、この3項目については、高い相関を示している。

・「友だちと外で遊ぶ」「テレビゲームなどのゲームをする」「携帯電話を使ってメールのやりとりをする」は、ほとんどの学年において負の相関を示している。

■学びに向かう力

◆感じ取る力

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
ふだんから「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	13.9	15.1	11.7	14.7	12.4	13.0
本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することもある。	11.4	17.6	19.6	17.0	19.4	11.9
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	16.8	21.7	20.7	18.0	26.0	25.2

◆学習動機

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	12.0	16.9	11.6	9.8	11.6	11.6
学習して、わかったりできるようになったりすることが、増えていくことはうれしい。	13.8	11.5	14.7	11.0	16.4	14.5
自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	11.1	15.3	13.5	10.2	13.3	10.8

◆自己効力感

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
努力をすれば、自分もたいいのことはできると思う。	15.9	15.2	10.1	7.6	7.1	10.8
自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	18.6	18.3	18.9	14.0	14.8	13.2
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	16.5	13.0	14.5	9.7	9.4	8.5

◆自己責任

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
成績が悪かったときは、自分の努力が足りなかったからだと思う。	15.4	11.9	10.1	7.1	6.1	5.8
同じまちがいをくり返さないように気をつけている。	16.5	15.5	20.0	12.7	21.9	25.6

・「学びに向かう力」のすべての項目と学力との正の相関があることから、「学びに向かう力」のポイントが高い子供ほど「学力の定着度」が高い傾向にあるといえる。特に、「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「同じまちがいをくり返さないように気をつけている」「自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある」「本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある」の順に相関が高くなっている。

■自ら学ぶ力

◆学習スキル

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
黒板に書かれなくても、大事なことはノートに書きとめている。	3.0	11.0	21.3	19.5	25.4	27.8
先生や友だちから聞いた学習の方法を参考にしている。	12.2	16.4	15.1	13.7	16.8	16.0
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	16.3	18.6	26.1	25.3	30.9	29.0

◆学習定着のための方略

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	12.6	21.5	27.5	24.5	24.1	26.9
授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	19.6	26.5	29.8	31.9	38.1	36.1
授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている。	18.5	33.5	37.4	33.7	41.8	43.9
授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	19.4	21.3	23.0	11.5	18.1	13.9

◆学習計画力

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
習った内容の中で、何がまだ理解できていないかわかっている。	16.1	25.9	22.6	14.5	21.5	23.1
その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	11.0	15.4	21.6	13.6	13.1	14.0
自分で学習の計画を立てている。	13.2	24.7	28.4	21.5	26.8	20.9

◆自宅学習習慣

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
宿題はきちんとやっている。	18.3	16.1	17.7	11.6	38.0	37.6
授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	10.6	16.7	19.4	15.1	12.0	10.7
興味を持ったことを、自分から進んで学習している。	18.7	17.7	17.2	13.2	20.3	19.3

・「自ら学ぶ力」のほぼすべての項目と学力との正の相関が見られる。「自ら学ぶ力」のうち、特に「授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方もいっしょに理解しようとしている」「授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている」において、スコアが高い子供ほど「学力の定着度」が高い傾向にあるといえる。

■学びを律する力

◆学習継続力

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	20.8	32.6	40.0	23.1	23.0	22.9
わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	22.4	22.3	30.2	27.0	39.3	45.3

◆学習のけじめ

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	16.7	16.1	20.2	14.7	22.3	24.1
勘違いや思い込みがないか、しっかり見直しをしている。	17.8	21.5	29.2	16.9	27.2	28.3

◆学習環境の整備

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
正しい姿勢で学習している。	11.1	17.7	21.6	13.2	16.6	20.5
必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	13.5	17.0	19.0	11.1	23.6	22.8



◆授業を受ける姿勢

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人の話は最後まで、きちんと聞いている。	14.5	17.9	19.9	11.2	16.7	13.4
ふだんから、ちこくや忘れ物をしないようにしている。	21.7	20.0	18.5	10.8	23.6	21.3
授業を集中して受けている。	20.3	21.4	27.3	17.4	30.9	27.8

・「学びを律する力」のすべての項目と学力との正の相関があることから、「学びを律する力」のスコアが高い子供、特に「学習継続力」の高く、「授業を集中していけている」子供ほど「学力の定着度」が高い傾向にあるといえる。

■生きる力

◆問題解決力

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	23.9	35.0	39.3	34.9	39.4	40.0
筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	20.0	31.1	35.6	31.9	37.4	36.5
自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	21.6	28.4	33.4	25.8	26.1	23.0
調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	18.5	28.4	31.4	33.4	32.2	31.8

◆社会的実践力

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学校のきまりや規則を守っている。	13.6	16.0	18.2	10.1	21.0	21.0
テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	26.2	28.8	26.2	27.9	21.8	15.7
お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	3.1	0.7	3.4	-6.0	-0.9	-6.6
社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	14.6	21.7	25.3	22.6	23.3	15.3

◆豊かな心

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
近所の人に会ったとき、あいさつをしている。	8.7	8.5	8.4	6.2	6.9	5.2
自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	16.0	22.7	20.2	17.5	22.2	23.4
むずかしいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	18.0	17.9	24.7	12.7	19.6	16.8
いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	18.3	20.6	21.2	16.5	20.8	19.1
自分とちがう意見も尊重している。	19.1	32.2	37.8	37.1	37.3	32.2

## ◆自己成長力

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
どんな職業や進路が自分に適しているのを知っている。	10.6	7.4	8.2	4.4	7.5	3.2
将来かなえてみたい夢がある。	6.8	4.1	5.1	-4.0	-2.4	-2.3

・「生きる力」では、「問題解決力」におけるすべての項目と「豊かな心」における「自分とちがう意見も尊重している」において非常に高い正の相関がある。

## ■通学意欲

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学校に行くのが楽しい。	12.8	20.9	20.1	10.2	11.8	18.9

・小学校高学年、中学校3年において、学力との正の相関がある。

## ■基本的生活習慣

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
朝食は毎日食べている。	10.8	10.8	8.9	9.1	16.3	19.6
朝、自分で起きることができる。	12.9	8.4	4.4	9.7	2.2	-0.2
夜は決まった時間に寝ている。	9.4	10.1	13.1	16.2	11.5	10.9

・特に、「朝食は毎日食べている」「夜は決まった時間に寝ている」は、学力との正の相関がある。

## ■家庭での指導・活動

質問内容	A層～D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
新聞に書かれていることについて家族と話す。	4.2	10.3	15.1	13.5	18.0	15.7
家族から世の中のふしぎな話や感動するような話を聞く。	12.5	15.2	16.9	9.1	14.7	8.7
家族といっしょに工作や料理などをする。	9.4	6.7	0.4	7.2	7.2	5.2
朝食は家族といっしょに食べている。	6.2	12.1	15.2	13.6	20.9	21.9
夕食は家族といっしょに食べている。	8.8	9.2	10.9	11.4	11.9	15.8
家族からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	7.5	11.7	12.0	10.8	14.8	10.7
習い事やスポーツ、学習などで自分が立てた目標を達成できるように家族が応援してくれる。	20.0	23.8	24.7	16.6	26.8	23.9
学校で学習したことが社会に出た時に役に立った話を、家族から聞いたことがある。	11.5	14.9	6.1	5.7	5.1	5.1
将来の夢やこれからの進路について家族と話す。	8.7	15.0	19.8	11.8	21.7	15.3
食器の後かたづけなど、自分のことは自分でするように、言われている。	11.5	15.9	10.6	6.3	12.3	8.4
早寝早起きなど、規則正しく生活するように、言われている。	18.0	17.6	15.4	8.2	13.9	17.4
人が話しているときはしっかり聞くように、言われている。	11.8	10.6	8.8	3.2	2.9	3.6
ふだんから計画的に学習するように、言われている。	12.7	18.0	17.8	6.4	10.9	15.6
やりはじめたことは途中で投げ出さず、最後までやりとげるように、言われている。	9.3	11.7	6.6	2.4	3.7	5.3
よく確かめて、勘違いや思い込みをなくすように、言われている。	14.5	19.3	16.6	8.0	15.4	17.8
朝食は毎日食べるように言われている。	1.4	2.6	-0.4	-2.5	4.5	4.5

・正の相関関係がある項目が多いが、特に「習い事やスポーツ、学習などで自分が立てた目標を達成できるように家族が応援してくれる」において高い相関関係がある。「将来の夢やこれからの進路について家族と話す」「よく確かめて、勘違いや思い込みをなくすように、言われている」「早寝早起きなど、規則正しく生活するように、言われている」「朝食は家族といっしょに食べている」の順で高い相関関係がある。

■学校での指導・活動

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
自分のことは自分であるという習慣を身につけよう。	-1.7	0.8	-0.2	3.2	2.4	1.6
見直しや確かめをして、勘違いや思い込みをなくそう。	10.0	13.0	11.9	11.4	17.0	15.1
新しいことを学ぶときは、これまでに学んだことを組み合わせて考えてみよう。	3.3	13.2	15.2	12.6	12.5	9.6
授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えてみよう。	1.3	7.9	9.6	7.3	2.0	-4.5
まちがえた問題や自信のない問題に、くり返し挑戦しよう。	10.8	16.6	16.0	16.5	20.1	18.7
家庭でも、毎日、時間を決めて学習したり、読書をしたりする習慣をつけよう。	8.9	17.4	13.9	16.6	20.4	20.9
掃除やボランティア活動は積極的にしよう。	2.7	8.1	11.0	5.4	11.5	8.5
おもしろい実験や楽しい教材を使って学習する。	13.5	20.4	20.7	17.8	13.7	13.3
ゲスト・ティーチャー（地域の人や学校以外の人）などから、勉強や活動についての感想やアドバイスをもらう。	-0.4	14.1	18.3	21.5	13.5	8.4
友だちの悩みについて、みんなで話し合う。	-2.6	-3.5	-9.3	-10.7	-13.9	-20.0
友だちの良いところや友だちから学んだことを話し合う。	6.0	4.9	0.8	-6.7	-8.2	-15.1
学習することが、ふだんの生活や自分の将来にどのように役立つかについて話し合う。	8.1	5.4	3.8	-5.1	3.5	1.5
先生から、がんばっている先輩や友だちについての話を聞く。	2.0	13.9	9.6	12.6	18.1	14.4
ふりかえりテストなどで自分がわからなかったところを確認する。	18.7	24.8	27.6	21.3	35.4	27.5
学習内容が理解できなかったり、テストでまちがえたりした原因について考える。	20.9	24.3	23.8	23.2	32.5	26.7

- ・「ふりかえりテストなどで自分がわからなかったところを確認する」や「学習内容が理解できなかったり、テストでまちがえたりした原因について考える」は、学力と正の相関がある。
- ・「友だちの悩みごとについて、みんなで話し合う」では、負の相関関係を示している。

■読書習慣(冊)

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
読書習慣(1ヶ月に読む本の平均冊数)	2.6	2.1	1.3	1.0	1.1	1.0

■学習時間(分)

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習時間(分)(平日)	34.1	49.4	59.8	34.1	33.6	39.6
学習時間(分)(休日)	26.9	43.4	65.6	35.1	35.1	46.8

■TVを見る時間

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
TVを見る時間(分)(平日)	-0.4	-10.0	-22.9	-11.3	-21.8	-17.5
TVを見る時間(分)(休日)	11.4	4.8	-6.5	2.5	-6.3	-4.6

■ゲームをする時間

質問内容	A層-D層の数値					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
ゲームをする時間(分)(平日)	-14.3	-22.6	-31.2	-20.2	-23.3	-24.2
ゲームをする時間(分)(休日)	-12.1	-16.4	-26.7	-14.9	-15.6	-14.0